

		<p style="text-align: center;"><b>南魚沼市立 五十沢小学校</b></p> <p>◆学校データ                  【学級数】 9学級                  【児童生徒数】 172人                  【地域コーディネーターの有無】 有</p>
<p><b>ふるさとのよさを感じ、進んで働きかける児童の育成</b>                  —「トライアングルスマイル」の実現に向けて—</p>		

## 1 はじめに

本校は、新潟県の南東部に位置し、魚沼産コシヒカリで知られる南魚沼市にある。「五十沢」の名の通り、多くの山や沢に囲まれた自然豊かな田園地帯にある。

平成23年4月、五十沢小学校と西五十沢小学校とが統合して現在の五十沢小学校が誕生し、9年目を迎えた。

開校以来一貫して、児童の笑顔を中心に、学校と家庭、地域、それぞれの笑顔が溢れる学校づくり「トライアングルスマイル」の実現に取り組んでいる

## 2 取組の実際

### (1)「花の丘」での栽培活動

ダムに通ずる道路脇法面に約100mに渡って造成された花壇が「花の丘」である。平成6年にサルビアの苗植えを始めて以来、25年以上の伝統を誇る。全校児童が一株一株丁寧に植え、草取り活動に励んでいる。平成16年度には、第2回花・人・みどりの水源地域活性化大賞で金賞(全国で二点)を受賞している。



全校「花の丘」活動

訪れる人々を温かく迎えようとする児童の思いが、咲き誇る花という形となり、人々の目を楽しませている。

### (2)地域の魅力の発見・発信

魅力あふれる地域素材と直接関わり、そのよさに気づき、進んで働きかける活動を生活科や総合的な学習の時間の年間指導計画に位置付けて展開している。

校地に沿って流れる小川には「水辺の観察園」が設けられている。低学年では、浅い流れの中で水遊びや植物、昆虫などの観察を楽しんでいる。中学年では、三国川やその上流のダム、温泉施設やキャンプ場について調べたりしている。



「水辺の観察園」生物調査



三国川探検

発見した地域の魅力をリーフレットやポスターにまとめて、発信している。高学年では、種蒔きから田植えに始まるコシヒカリの稲作体験活動や地域の文化や伝統の継承活動に取り組んでいる。

地域との関わりを通じて、感じ、考え、まとめ、発信する活動を大切に、地域に対する愛着や誇りをもたせていきたい。

### (3)地域の人々に学ぶ

地域には、その道の「名人」ともいえるほどの知識・技能をもった人々が多数いる。学校の呼びかけに応じ、教育活動に参画していただいている。

## 【別紙1】地域教育プログラム実践集原稿

本年度は全6クラブ（ペーパークラフト、歌舞伎、クッキング、百人一首、卓球、ダンス）に、地域の方から指導者として加わっていただいた。児童は地域の「名人」から直接学んでいる。

また、学校田や学級園での栽培活動における指導者として関わっていただいている。第5学年は田植えから稲刈り、脱穀までの工程を農家の方から継続して学んでいる。低学年では、学級園の畝づくりから苗植え、草取り等、地域の方々から直接教えていただきながら活動し、収穫を楽しんでいる。

児童は、地域の人々から学ぶ中で、地域の「人」の素晴らしさに気付き、自分たちが大切にされている実感を深めている。

### (4) 地域行事への参加

統合前の2校それぞれのよさが融合した鼓笛隊は、統合のシンボルとして地域に受け入れられている。しゃくなげ湖祭りや地区芸能祭に招かれ、鼓笛演奏を行っている。自分たちの演奏を楽しんでいる人々の気持ちが児童の自信や意欲となっている。



鼓笛隊「しゃくなげ湖祭り」

### (5) 地域と学校を結ぶ

#### 「五小ふらっとルーム」の創設

本年度、学校の中に地域連携の活動拠点となる「ふらっとルーム」を創設した。

「ふらっと」には、保護者や地域住民が気軽に立ち寄ることができる、地域と学校とが自他共栄の関係を保つという願いが込められている。週2回、火・木曜日に地域連携コーディネーターが勤務をし、「ふらっとルーム」を開設している。

学校職員は、地域連携コーディネーターに人材確保（時期・学年・人数・活動内容）を依頼すると、必要な人材を確保

してくれる。低学年生活科（野菜づくり）、第3学年社会科（昔の遊び、昔の地域の様子）、第5学年家庭科（ミシン、調理）等で、地域の方々から協力いただいた。

休み時間は、児童も自由に「ふらっとルーム」に出入りして、地域の方々と一緒に遊びながら、自然な形で交流が図られている。



「五小ふらっとルーム」の地域案内らし

### 3 成果と課題及び本実践で育成された資質・能力

本取組により、①五十沢の魅力を語る力、②他者とのコミュニケーション能力、③情報収集、資料作成、発信の技能の資質・能力が育成された。

多くの地域の方々に関わってくださることで、学校に対する関心が高まり、協力が得やすくなっている。

現在、本校の「地域教育プログラム」は、総合的な学習の時間の補助活動として機能している。今後は、他教科と関連付けながら、より系統的な教育課程に組み込むことが課題である。

### 4 おわりに

地域の「人・もの・こと」との関わりは、長い年月を通じて大切に受け継がれてきたものである。これからも、地域の宝である児童が、より地域に興味・関心を持ち、愛着をもてるように、地域との連携を大切にしていく。